

ターペン可溶アクリルシリコン樹脂系塗料

高耐候

低汚染

防カビ
防藻

コスモマイルドシリコンII

鮮映性が向上しました

Cosmo
Mild
Silicone II



※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。
 ※提案色以外でも日本塗料工業会色見本帳などの調色も可能です。
 ◎印は材料費が割高になります。

塗料性状

塗料系統	ターベン可溶アクリルシリコン樹脂系塗料
比重	主材：1.20 硬化剤：0.96
加熱残分(%)	64
ホルムアルデヒド等級区分	F★★★★
労安法上の表示有害物	キシレン
鉛・クロム・重金属	配合せず

乾燥および塗装間隔

項目	温度	23℃
乾燥時間	指触	20分
	半硬化	1時間
標準塗装間隔	最短	4時間
	最長	7日

素材別適用下塗

素材	下塗り
鉄	ザウルスEXII 又は スーパーザウルス
アルミニウム	
亜鉛メッキ	スーパーザウルス
ボンデ鋼板	
コンクリート	浸透型シーラー、エポムシーラー
モルタル	マルチタイルコンクリートプライマー-EPO アレスホルダー-GII、アレスホルダー-Z アレス弾性ホルダー-防水形 [※] 、アレスシリコンクラフト
窯業系サイディング	ポリマーレジン、水性エポレジン
硬質塩ビ	無し
FRP	スーパーザウルス

※弾性硬化剤

荷姿・色・艶

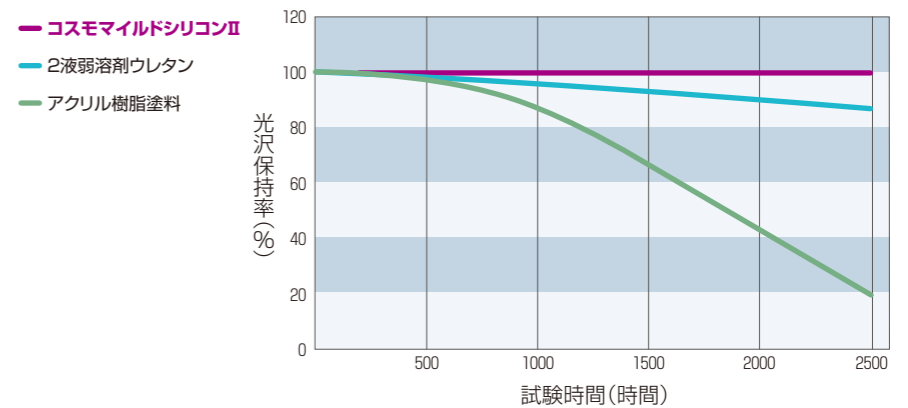
荷姿	14kgセット (主材：12kg 硬化剤 [※] ：2kg)	3.5kgセット (主材：3kg 硬化剤 [※] ：0.5kg)
色	白・黒・赤・赤さび色・黄土色・緑・青・黄および調色品	
艶	艶有り・艶調整可(3分艶有りまで)	

※弾性系塗材への塗装時には弾性硬化剤をご使用ください。

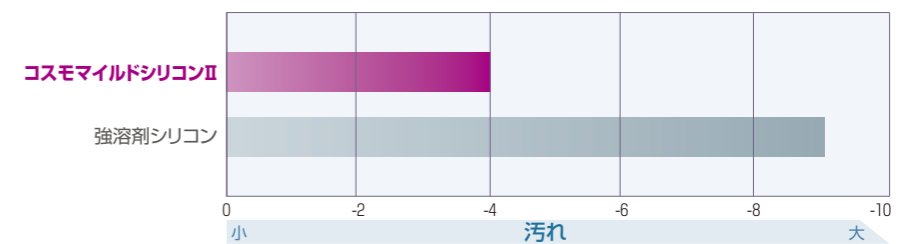
塗膜性能 <JIS K 5658 建築用耐候性上塗り 準拠>

項目	要求内容	コスモマイルドシリコンII
容器の中の状態	硬い塊が無くて、一様になる	○
表面乾燥性	23℃：8h以内 5℃：16h以内	○
塗膜の外観	正常である	○
ポットライフ	5時間	○
隠ぺい率(白及び淡彩)	90以上	97
鏡面光沢度(60G)	70以上	85
耐衝撃性(落球式)	ワレ及びはがれが生じない	○
付着性(クロスカット)	分類1又は0であること	○
重ね塗り適合性	支障がない	○
耐アルカリ性(飽和水酸化Ca水溶液×168h)	ワレ、はがれ、フケがない つやの変化、変色の程度が大きくない	○
耐酸性(硫酸水溶液5g/L×168h)	ワレ、はがれ、フケがない つやの変化、変色の程度が大きくない	○
耐湿潤冷熱繰返し性 10サイクル	塗膜表面状態	ワレ、はがれ、フケがないこと
	光沢保持率	70%以上

促進耐候性(キセノン)試験結果



耐汚染性能比較・ばくろ結果(ΔL値) <東京6ヶ月ばくろ、未水洗面>



耐候性に優れます
(JIS K 5658耐候性上塗り 2級相当)

塗装作業性に優れます

光沢・肉持ち感に優れます

コスモマイルドシリコンII

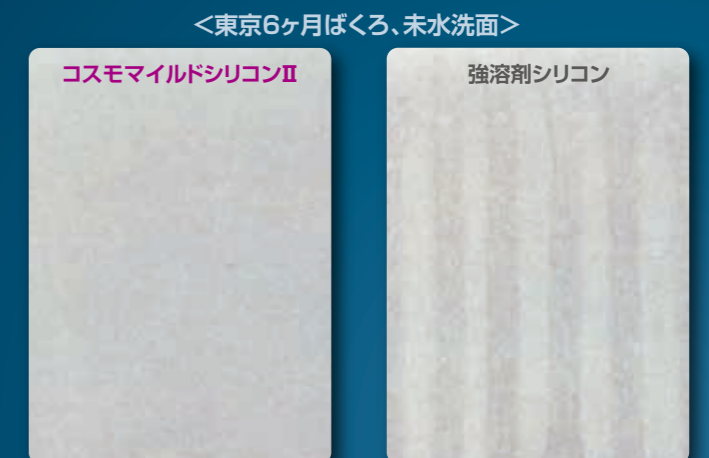
特長

低汚染性を有します

防カビ・防藻性を有します

各種下地適正を有します

鉛・クロムは配合していません



標準塗装仕様

■コンクリート・モルタル・スレート面

①旧塗膜のテクスチャーを変えた塗り替え

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面にする。				
2	下地調整材（下塗り）	アレスホルダーGII 上水	0.8~1.5	多孔質ローラー	1~5	8時間以上 7日以内
3	上塗り [1]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	4時間以上 7日以内
4	上塗り [2]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	—

②旧塗膜のテクスチャーを活かした塗り替え

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面にする。				
2	下地調整材（下塗り）	アレスホルダーGII 上水	0.3~0.5 0.5~0.7 0.5~0.7	中毛ローラー リシンガン エアレス	5~10 7~10 7~10	8時間以上 7日以内
3	上塗り [1]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	4時間以上 7日以内
4	上塗り [2]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	—

標準塗坪

- ハケ・ローラー：約50m²/缶 （標準2回塗り時の目安です）

施工上の注意事項

- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- 塗装仕様に記載の塗り重ね乾燥時間は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋外で十分な換気ができない場合は、塗り重ね乾燥時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けてください。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けてください。
- 黄・赤・青・緑系の冴えた色で仕上げる場合は、隠蔽性のよい共色を塗装してから仕上げることをお奨めします。
- 外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないでください。剥離の原因となります。
- 完全乾燥までに時間を要しますので、カウンター、床面等への塗装は避けてください。
- 調色には指定原色を使用してください。また、濡れ色に比べて乾き色の方が濃くなる傾向ですので、調色には乾き色に合わせてください。
- 希釈には必ず「塗料用シンナーA」を使用してください。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解等が発生することがあります。またラッカー系旧塗膜面を塗り替える場合、チヂミが発生することがありますので、事前に確認してください。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因になるだけでなく、流れやすくなるため、仕上り不良の原因にもなりますのでご注意ください。
- 被塗面に、油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、シンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装してください。異なる色を塗り重ねる場合も、ニジミ防止のため、塗り重ね乾燥時間を1日以上確保してください。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 開缶した状態で長時間放置すると、水分と反応して増粘・皮張り等を起こしやすくなりますので、使用後の塗料は、直ちに密閉して冷暗所に保管してください。
- ベースと硬化剤を混合した塗料は、8時間以内（23℃）に使用してください。混合後、長時間経過した塗料を使用した場合、塗膜性能が低下する場合があります。
- 下塗りにVPSローラー、アレスイグル、エコカチオンシーラーを使用しないでください。チヂミや層間剥離を生ずる可能性があります。
- 硬化剤は、必ず専用の硬化剤を使用してください。ベースと混合後は直にかき混ぜてください。
- 混合比率（重量比）は、上塗り：ベース/硬化剤=6/1です。
- シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装を行う場合は「シーブラ」「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を使用してください。
- ベース/硬化剤混合時には秤などを使用して正確に量り取ってください。硬化剤配合量が規定量より多くなると（可使時間）が極端に短くなる場合があります。
- 盛夏期には2液混合後短時間で使い切るようにしてください。
- 溶剤適性の無い旧塗膜は膨れる可能性があります。
- 弾性ホルダーの上塗りに使用する場合は弾性硬化剤を使用してください。なお、ツヤ調整品は適応できません。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。

■汚れについて

- シーリング材、鉄サビに起因する汚れは、一般塗料と同レベルです。
- 建物の構造上、本来の耐汚染性が発揮しない場合があります。雨掛りの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面では十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承ください。

③平滑仕上げ

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用してよく除去し、乾燥した清浄な面にする。pH10以下、含水率8%以下とする。				
2	下塗り	エポムシーラー	0.15 0.18	ローラー エアレス	無希釈	16時間以上 7日以内
3	上塗り [1]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	4時間以上 7日以内
4	上塗り [2]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	—

■一般鉄部（塗り替え）・亜鉛メッキ面

工程	塗料名・処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装方法	希釈率 (%)	塗装間隔 (23℃)	
1	素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。サビは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗表面を清浄な面にする。素地露出部は工程2の下塗りをういて補修塗りを行う。				
	亜鉛メッキ面	溶剤脱脂により被塗面を清浄な面にする。白サビなどはワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで除去する。				
2	下塗り	スーパーザウルス (主材/硬化剤=9/1) 塗料用シンナーA	0.14 0.17	ローラー エアレス	0~10 0~10	4時間以上 7日以内
3	上塗り [1]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	4時間以上 7日以内
4	上塗り [2]	コスモマイルシリコンII (主材/硬化剤=6/1) 塗料用シンナーA	0.14	ハケ、ローラー	0~7	—

ご使用上の注意事項

- 下記の注意事項を守ってください。
詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照ください。
- 予 防 策
- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 対 応
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 管
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 棄
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）
- 施工後の安全
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934 中部販売部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
北海道販売部 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757 大阪販売部 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
東北販売部 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073 中国販売部 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
北関東販売部 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223 四国販売部 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
東京販売部 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935 九州販売部 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は

(13年10月03日PKO) カタログNo.704